



村松・根本さん県代表選手

五泉市村松の小学6年生、根本奈都実さん(12)は五泉市剣道連盟は今年18日、大阪市此花区の府民共済アリーナで開かれる第11回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会(小学生の部)に初出場する。一度は諦めた剣道だが、共に歩む剣士仲間ができたことで練習に励むようになった。全国大会出場に根本さんは「新潟県のチームに貢献できるように全国大会では全力を出し切りたい」と意気込んでいる。写真は県代表選手として出場する根本さん



発行所
樋口新聞舗
〒959-1823 五泉市駅前1
電話 0250-11110番

五泉剣連から初出場

今月18日に全日本優勝大会

一度諦めも努力が結実

がきっかけだった。当時小学生は男子だけで、根本さんは「女子は私1人で、緊張して練習場を逃げ出していました」と振り返る。剣道は1か月もして

2年生の時は成長して防具があわなくなっていた」と苦笑。しかし、練習には人一倍励み、メキメキと上達。今年小学生の最上級の1級試験に合格したとい

父竜太郎さんは「常に誰よりも全力で戦うこと」を指導し、「全国大会ではいつもの通り楽しくやってほしい」と激励する。同大会には五泉剣連から女子出

根本さんは、剣道5段の父竜太郎さん(40)に連れられて五泉市剣道連盟が練習する総合会館各技館を訪れたのは小学1年の初め頃、「兄がやっていたので」

いなかった。だが2年生になると、同級生の女子が剣道をはじめたのを機会に再び練習場に通うようになった。竜太郎さんは「防具一式をそろえていたが、

県代表選手(計5人)に選ばれた。

う。全国大会へ進む県代表選手選考会の下越大会は50人が出場。予選リーグなどを経て上位5人に入る。第2回選考会では25人が参加し10人に絞られた。最終選考会は6月19日、10人がリーグ戦で熱戦を展開。その結果、男子9人の中で根本さんは見事、5位を勝ち取り県代表選手(計5人)に選ばれた。

場は初めてで、帆笥達郎会長は「会員一同で応援し、けいこの成果を送る。を出してもらい頑張っ てほしい」とエールを送る。